



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

MEET ME AT
EXPO 2025!

次世代刃物「近畿モデル」

刃先微細加工で自由自在
近畿刃物工業株式会社は
大阪エヴェッサを応援しています。



近畿刃物工業株式会社

段ボール用の「刃物」
部分をユニット化

国際特許取得

日本特許第3622056号
中国特許第ZL200480018888.2
アメリカ特許US7,631,686 B2

本社・第一工場
〒590-0001 大阪府守口市
大日野1-3-12
TEL: 06-6911-1221 FAX: 06-6905-9713

第二工場・第三工場
〒590-0002 大阪府守口市
佐太町1-1-20

段ボール刃物 [検索](#) 詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.kinkihamono.co.jp>

国際品質保証
ISO9001:2015登録取得

ISO14001:2015登録取得

ISO45001:2018登録取得

近畿刃物工業株式会社の
設計・開発・製造及び
品質保証業務

ISO9001:2015
ISO14001:2015
ISO45001:2018



**近畿刃物工業
阿形 清信社長**

やるべきことを決断・実行

社員や家族の生活を守る

「2022年の展望は。コロナ禍で社会全体が病にかかっているような状態だ。半導体などの部品不足の影響で納期の遅れが発生し、欲しいものが欲しいときに手に入らない。原材料価格も高騰し、企業利益を圧迫しており、景気低迷の一因となっている。世の中は繋がっており、何か一つが滞れば全てに影響が及ぶことを知らされた感じだ。今必要なのは各企業が明日を生きていく努力をすること。その積み重ねが、向かい風を追い風に変え、コロナ禍前の状態を取り戻す原動力になると信じている」

「安心して働ける職場にするため、少しでも体調に不安がある社員には休むことを推奨していた。しかし、ボトルネックとなる工程が発生し、効率的な生産ができず、負の連鎖に陥った。そこで、前倒しできる工程を初期段階に行う前倒し生産を開始した。工程の流れは改善され、生産効率が向上し、売り上げは回復した。社員も積極的にほかの工程の仕事を覚えるようになり、自然とカバー体制も構築された。仕事は自分たちの

生活を守るためのもの」ということに気づいてくれた結果だと思っている」

「定期的に実施している抗原検査など、社員やその家族が安心して生活できる環境作りを可能な限り継続していく。先の見えにくい環境ではあるが、気にかかると、やるべきことを決断・実行していく。心の軸をぶらさず乗り切っていく」



段ボール切断加工用次世代刃物「近畿モデル」

2022年始動

関西の優良企業トップに聞く

ニューノーマル時代に新たな成長への挑戦

開発力と対応力に自信あり。

「優れたデザイン」「小ロット短期対応」「開発技術力」「信頼の日本国内生産」「多彩なバリエーション」「オーダーカスタマイズ」。これらの強みが多くのお客様から選ばれる理由となり、小型バルブのトップブランドとしての地位を確立しています。

RoHS指令相当品シリーズ

エスポール

SUS304製

エスポール-21

ステンレス製ニードルバルブ

チッコロ-α

Lポート三方ボールバルブ

エスポール-3W

小型インラインチャッキの決定版

Acheck








アソー株式会社 <http://www.asoh.co.jp>



**アソー
浅生 隆一社長**

かゆい所に手が届くサービス

SDGsの取り組みも開始

「商品の動きは新型コロナウイルス禍にあっても堅調に推移している。建設機械や工作機械、医療機器などがいち早く回復した。さまざまな材料が値上がりし、プラスチックなど品薄になっているものがある点も気がかりだが、需要は減退していないので大丈夫だと思える」

「どんな方針で臨みますか」

「在庫が増えることは気にせず品揃えを豊富にして、顧客に対してかゆい所に手が届くようなサービスを提供する。アイデアをもらってサンプル品をつくるサービスを積極的にやっている。サンプル品としてすぐに形にして見せることで説得力が増す。ROHS(欧州特定有害物質規制)指令対応品の比率を高めるなど、品質保証も徹底している」

「2年前から取り組んでいる働き方改革の成果は。」「もともと残業は少ないが、各職場で効率的な働き方ができるよう改革を進めてきた。年間休日125日に加え有給休暇消化も促し、休日は高水準となっている。成果は業績の安定があってこそ。人を減らさないため、ゆとりのある人員体制が可能で、」

「SDGsへの本格的な取り組みを始める。まず具体的に何から始めるかを検討し、我々ができることを明確にしていきたい。取引先からは事業継続計画(BCP)の強化を求められており、安定した製品供給ができるような体制を強化したい。働き方改革、SDGsへの取り組みは人材採用にも有効で、好循環につなげたい」

「次の展開は。」「SDGsへの本格的な取り組みを始める。まず具体的に何から始めるかを検討し、我々ができることを明確にしていきたい。取引先からは事業継続計画(BCP)の強化を求められており、安定した製品供給ができるような体制を強化したい。働き方改革、SDGsへの取り組みは人材採用にも有効で、好循環につなげたい」



ステンレス製ホース継手シリーズ

黙して語らず。 挑戦は止まらない大阪冶金

世界初(※)の
MIM製航空機エンジンブレードの
実現を目指す

究極のエネルギー
核融合実証へ
真空熱処理技術を提供

3Dプリンタ製
カスタムメイド医療機器を
患者様へ

大阪冶金は
産学連携を大切にし
関西大学と「学の実化」を体現

2022年2月17日(木) 大坂 三木工場に新棟竣工

2022年3月設立80周年を迎えます。

大阪冶金興業株式会社

本社/大阪市東淀川区瑞光4-4-28
三木工場/兵庫県三木市別所町巴25
研究室/関西大学イノベーション創生センター
411号室 次世代加熱技術研究
209号室 金属3Dプリンタの基礎研究と社会実装

三木工場の新棟完成で 次のステージへ



**大阪冶金興業
寺内 俊太郎社長**

「2022年はどんな年になりますか。」
「10年かけて技術や設備を磨き、参画している国家プロジェクト2件がいよいよ実装段階に入る。いずれも大学、研究機関や大手メーカーとの産学連携で取り組んできた。医療関連の3D積層造形プロセス、内閣府主導の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)2期による革新的構造材料開発のいずれも実用段階には、我々にもお仕事があることを願っている。」
「2月には三木工場(兵庫三木市)に新棟が完成します。」

「発電設備部品などの熟処理加工能力を高めるため、新棟を建設している。能力増強だけでなく、次のステージの実さしたい。国家プロジェクトのほか、国際熱核融合実験炉(ITER)計画にも部品供給で参画しており、新たな設備を導入して、事業を拡大する。」
「さらに次代をにらんだ種まきは。」
「3D積層造形した金属の特性を保つため、省エネルギーで熱加工できる次世代熱源

「新たな技術に次々と挑戦できる秘けつは。」
「常に研究開発に取り組む社風の維持が一番大切だと思いい、これまでに大手企業OBとの縁を大切に、知恵と経験の豊富な人材が加わったことで、生え抜き社員の研究開発に取り組む意識も変わってきた。」



金属3D積層造形製品

Fuji Dempa

誠意・創意・熱意 みなぎる

「相談し甲斐のあるエンジニア」がいっぱいいる会社

新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて73年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。



2021年11月に完成した新事務所棟(滋賀工場内)



多目的高温炉「ハイマルチ」

ファインセラミックス等の素材開発に不可欠な標準機として国内外の研究機関・企業に250台以上の実績。この1台で真空・常圧・加圧でのホットプレスと焼結が全て可能。

「ものづくりの環」をつなぎ人と地球の未来を創る

富士電波工業株式会社 Est. 1948

本社：大阪市淀川区新高2-4-36
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場 つくば事業所

<http://www.fujidempa.co.jp>

連動と工夫で迅速に動く 新たな展開への環境整備も



**富士電波工業
横島 俊夫社長**

「足元の景況感。」
「2021年8月期決算は計画通り推移し利益も出せた。ただ海外では装置の立ち上げに苦勞し、国内も出張などに制約を受け商談は滞り、受注活動は順調とはいえないかった。」
「展示会出展も相次いでいます。」
「昨年12月の『高機能材料展』に初出展した。ユーザー中心の展示会出展は久々で、情報収集が主目的だが意義があった。6月の「サーモテック」は研究開発する予知保全や熱処理実験の成果をアピールする。」
「現状の課題は。」
「部品の調達難と仕入れ価格の上昇を乗り越え、いかに利益を確保するか。手をこまねいてはダメで、」
「滋賀工場の事務棟が11月に稼働しました。」
「業務に忙しい思いの場所で働く「アクティビティ・ベースド・ワーキング(ABW)」を取り入れた。混乱は少なく順応している。その上で、創造性を養い発揮できれば言うことはない。執務スペースや食堂には経営理念「和と挑戦」企業ビジョンもまねいても前に進めず、新書訓示で「仕方がない」と諦めず、どうすればいいか皆で連動し工夫して迅速に動く」との行動指針を出した。この実行が大きな意味を持つ。」
「22年はどんな年になりますか。」
「コロナ禍が21年と似通ってきているが、先を見据えた技術開発や受託実験設備の充実をはじめ、新たな展開につながるさまざまな環境整備を充実させる一年にしていきたい。」



滋賀工場に新しく配置した高周波誘導高温雰囲気炉

プロフェッショナルタイプのセンサを搭載した 単機能アルコールチェッカー



デジタル アルコールチェッカー FALC-21

FUGOsmart 好評発売中

フーゴ スマート 電気化学式 単機能タイプ

定価 ¥14,800 (税込 ¥16,280)

プロフェッショナルタイプのアルコールチェッカー「フーゴ プロ」から「測る・見る」に機能を絞った単機能タイプ「フーゴ スマート」登場。

- 主な特徴
 - 特徴1 電気化学式ガスセンサ
様々な成分が含まれる呼気中から、アルコール成分に対し優れた選択性を発揮する電気化学式ガスセンサ搭載。
 - 特徴2 圧力センサ
一定の圧力にしか反応しない圧力センサが、吹き込み不正を防止いたします。
 - 特徴3 簡単操作
電源を入れて息を吹き込むだけで大型デジタル表示が検知結果を表示します。

検索 **フィガロ技研** お問い合わせ：072-728-2560 受付時間 月～金 9時～12時/13時～17時(祝日および当社休日を除く)
〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-11-46 フィガロ技研株式会社 www.figaro.co.jp

FGD2030本格推進 将来ビジョンを軸に成長



**フィガロ技研
宇高 利浩社長**

「社長就任後、約2年が経過します。」
「就任と同時にコロナ対策本部も兼任、対策に注力させるを得なかった。事業的には北米の大口顧客がロックダウンの影響で厳しい状況に陥ったが、ガス漏れ警報器をはじめ「空気質」に携わっていただくことが幸いして急速に回復。2021年3月期は過去最高の売り上げを達成、22年3月期に向けても順調に進んでいる。」
「アルコール検知器が注目されます。」
「運輸事業者には運転手の点検時にアルコール検査が義務化されているが、22年10月に社有車5台以上が定員1人以上の車を保有する事業者にも義務化される。かなりの新需要が発生するため、ビジネスチャンスを逃さないよう対応を取る。」
「FGD2030の目標は、この計画は多くの社員たちが思い描く会社の将来ビジョンを軸としており、「働く事と生きがい」「事業活動と社会」「グループ会社」という三つのキーワードで、従業員や社会、グループ会社との関係を大切にしながら成長していくこと。数値目標は既存事業で2倍に、残りは新規事業で確保して、最終年度には20年度比で売り上げを3倍にする」とだ。



World leader in gas sensing innovation

世界中で安全・快適な暮らしを見守る
フィガロ技研の各種ガスセンサー